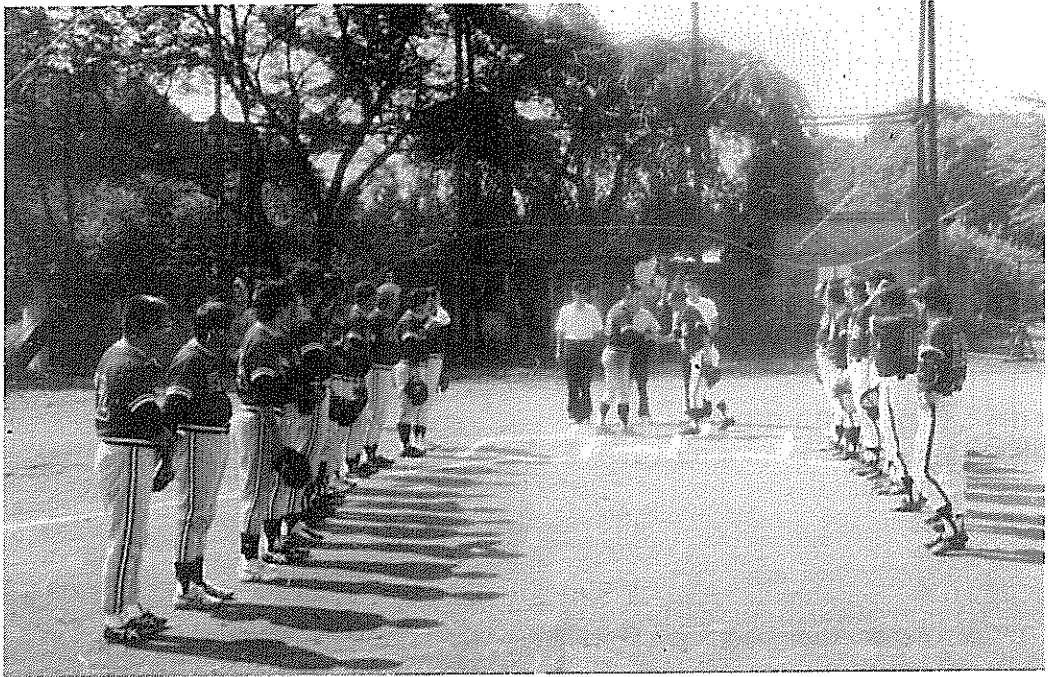


# 岩手郡医報

平成元年10月 No.27

編集 発行  
岩手郡医師会

題字 雫石町高橋孝先生



平成元年 8 月 20 日、雲一つない紺碧の空の下、第 41 回岩手県医師会親睦野球大会が水沢医師会担当で水沢市に於て開催された。

水沢市営球場で、午前 8 時より開会式ならびに永年出場選手の表彰式があり、岩手郡医師会より 10 年選手として、遠藤哲夫、高橋克郎、及川忠人の 3 選手が表彰を受けた。

午前 9 時より水沢高校グラウンドで、当チームは久慈医師会チームと対戦し、4 対 15 で大敗を喫す。

捲土重来、

第 42 回大会は、平成 2 年 8 月久慈医師会の担当で開催される。

(高橋牧之介)

## 目次

県医師会親睦野球大会	1
郡医師会通常総会	2
郡医師会理事会記録	5
健康診断改正のあらまし	6
親睦ボーリング大会	8

第 41 回県医親睦野球大会	9
第 23 回県医親睦ゴルフ大会	10
第 6 回岩手県医師会庭球大会	11
新入会員・退会員	12
編集後記	12

# 平成元年 岩手郡医師会通常総会



総会で挨拶する高橋会長(左)

▼日時：平成元年7月1日(土) 午後5:00  
場所：盛岡市大通 ホテル東日本  
進行：及川理事

総会員数が61名、出席者30名、委任状20名  
よって過半数を超えるため総会は成立することを  
確認。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議 題

(1) 第1号議案…昭和63年度一般会計決算書の承認について (西島理事)

◀ 1 ▶ 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰 越 金	円 1,000	円 619,286	
会 費	2,590,000	2,540,000	A 会 員 50,000×36人=1,800,000円 B 会 員 30,000×24人= 720,000円 C 会 員 20,000× 1人= 20,000円
補 助 金	85,000	83,000	地 域 医 療 医 28,000円 学 校 医 55,000円
雑 収 入	4,000	11,391	預 金 利 息
合 計	2,680,000	3,253,677	

◀ 2 ▶ 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
会 議 費	円 1,100,000	円 1,215,589	総 会 (2回) 708,305円 理 事 会 (5回) 471,884円 監 査 会 (1回) 35,400円
事 務 費	570,000	520,007	役 員 通 信 費 180,000円 通 信 費 67,222円 消 耗 品 費 130,646円 印 刷 費 20,000円 雑 費 122,139円
広 報 発 行 費	275,000	170,400	印 刷 費 149,000円 発 送 費 19,800円 雑 費 1,600円
旅 費	570,000	327,500	
交 際 費	1,000,000	30,000	
慶 弔 費	50,000	90,000	
予 備 費	15,000	23,000	
合 計	2,680,000	2,376,496	
次期繰越金		877,181	収入金額3,253,677円－支出金額2,376,496円

(2) 第2号議案…昭和63年度休祭日当番医決算書の承認について (西島理事)

<1> 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
繰越金	1,000	1,434,197	
補助金	3,444,000	3,444,000	
雑収入	5,000	684	預金利息
合 計	3,450,000	4,878,881	

<2> 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
	円	円	
報 償 費	2,600,000	1,943,356	支部報償費 (100,000×3支部) 300,000円 健康教育費 (5,000×67人) 335,000円 救急対策費 120,700円 県医野球大会 360,156円 県医ゴルフ大会 25,000円 県医スキー大会 22,000円 校医と義教懇談会 50,400円 合同研修費 429,800円 厚生対策費 300,300円
需 要 費	350,000	21,750	通信消耗品費 21,750円
旅 費	250,000	80,000	
役 務 費	90,000	60,000	三支部 @ 20,000×3
雑 費		2,600	
予 備 費	160,000	317,500	
合 計	3,450,000	2,425,206	
次期繰越金		2,453,675	収入金額4,878,881円-支出金額2,425,206円

(3) 第3号議案…昭和63年度特別会計決算書の承認について (西島理事)

収入の部	金 額	摘 要
	円	
繰越金	2,352,053	
岩手県医師会	1,254,700	県民健康講座負担金他
県予防医学協会	122,000	検診立会医依頼事務手数料
県医師信用組合	153,000	事務委託費
県医師国保組合	24,000	支部交付金
雑収入	46,902	預金利息・指定医更新審査手数料
合 計	3,952,655	

支出の部	金 額	摘 要
	円	
郡学校保健会	100,000	補助金
岩手医学会	236,800	会員会費分
八幡平リゾートホテル	263,371	災害事故救護協定書締結会議
山本印刷	80,000	災害事故救護に関する協定書印刷
岩手県医師会	24,500	
合 計	704,671	
次期繰越金	3,247,984	収入 3,952,655-支出 704,671

## (4) 会計監査報告 (平野監事)

決算書類について慎重に監査いたしましたところ、その収支は適正妥当なるものと認めます。

## (5) 岩手郡医師会費賦課について (西島理事)

県内医師会の会費をみるとA会員で最高18万円、B会員14万2千円など各医師会ともまちまちであり、当医師会は最低の部類に入る。よって値上げも止むなし。

## (6) その他 高橋孝先生の副会長推せんが承認された。

## 4. 報 告

## (1) 産業医部会より (西島理事)

岩手郡医報No.26 9頁参照

## (2) 保険診療について (高橋会長)

岩手郡医報No.26 4～6頁参照

## (3) 福祉関係について (坂井理事)

岩手郡医報No.26 6～7頁参照

## (4) 第109回臨時時代議員会について (根本理事)

いわて医報No.459 9～11頁参照

## (5) 生涯教育に関して (上田副会長)

## (6) 学校医部会に関して (高橋副会長)

## (7) 平成元年度県民健康講座について (八角理事)

今年度は平成2年1月中旬～2月上旬にかけて西根町にて開催予定である。共通のテーマは未定。

## (8) 医報について (嶋理事)

岩手郡医報No.25 6～7頁参照。

## (9) 岩手県医師信用組合理事会について (高橋会長)

各都市医師会のリクレーション補助金の分担があった。

## (10) 県医師会野球大会、ゴルフ大会、岩手郡医師会登山について (高橋会長)

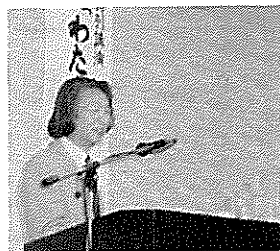
野球大会は水沢医師会の担当で水沢市内で行われ、ゴルフ大会は気仙医師会、東磐井

郡医師会の担当で盛岡南ゴルフクラブで行われる。登山については医院家族・従業員の慰安を兼ねて岩手山登山を計画しているが詳細については検討中である。

## (11) その他

## 5. 特別講演

「わたくしの昭和史」 画家 川村 勇氏



川村氏は「えがぎ」になりたい一心で、出身地和賀郡湯田町陸中川尻から昭和22年4月17日午後4時45分家出したときからの話を、当時のお金でいくらとか、非常に詳細な記憶力で、「0から出発したから0に帰ればいい」という気持ちをいつも忘れないように努めたという。

宮古でアルバイトをし、1年で8,200円程貯めた。そして16時間かかって、常磐線の夜行列車で東京へ出た。絵の具を買うお金もなく、月に4回の献血(200ccで400円)をして、絵の具が10本貯ったら絵を画こうと思ったという。東京美術学校に入学したが途中で学歴がばれてしまい苦勞したこと。また山手線の電車で隣り合わせた女性に絵のモデルになってほしいと頼んで、池袋まで追いかけて、上野公園のベンチで絵を画いた。「花をもつ女」「十字架をもつ女」など一連の女性の絵を画き、上野美術館の展覧会で入選を果たした。(昭和26年2月) このときはうれしかった。そして新聞社の車が3台やって来て取材を受けた。

昭和35年最初の個展を開いた。焼き鳥屋の親父さんが当時で2,000円の画を買ってくれた。また外人さんが3,000円で画を買ってくれたことなど思い出される。

昭和35年末には香港の大学へ招へいされて渡香した。

自分の画いた絵を郷里陸中川尻へ寄贈し、町内へ美術館を建てた。

これらのことなど立身出世の物語をふるさとなまりを交えて、貧しかった日々など単々と話す激動の昭和の様子は感銘を受けるものが多かった。

## 岩手郡医師会理事会記録

▼日時：平成元年9月30日（土）午後5時

場所：盛岡市 ホテル東日本

出席者：高橋牧之介、高橋孝、佐藤郁郎、上田靖彦、西島康之、及川忠人、佐渡豊、瓜田明義、根本忠夫、嶋 信、八角正司の各理事

A、報告事項

### 1. 学校保健を語る会等について

7月15日（土）村瀬敏郎日本学校保健会会長、及び矢野亨日本医師会常任理事の両先生を囲んで東北各県及び岩手県の各都市医師会担当役員により意見の交換が行われた。

### 2. 第1回東北学校保健・学校医大会について

7月16日（日）に県医師会館において、心臓及び循環器検診、腎臓検診、眼科関係、耳鼻科関係など22演題の発表。

「学校保健におけるスポーツ医学」という基調講演を順天堂大学体育学部長黒田善雄先生が行ない、続いてシンポジウム「学校保健とスポーツ」というテーマで各県のシンポジストにより発表が行なわれ、最後に「学校保健における健康教育」として日医常任理事矢野亨先生の特別講演が行われた。

当日は374名の参加があり大変盛大であった。

### 3. 一人医師医療法人についての懇談会

7月22日（土）県医師会館視聴覚室において行われ、「医療の税務戦略——一人医療法人

### 6. 懇親会

この席上新入会員の塚谷栄紀先生、伊藤伸郎先生、藤原純先生が紹介された。

乾杯のあと懇親の宴、余興となりカラオケの演奏に合わせて多数の方が歌った。中でも本日の特別講演ゲストの川村勇氏の「矢切りの渡し」の踊りは圧感であった。

のメリット・デメリットと法人認可申請の手続き」と題して、公認会計士三澤壮義先生のお話があった。

県内では県南地方の先生方が非常に熱心で県北の先生方はいまいちであるとのこと。

現在19件の申請がある。

### 4. 岩手郡医師会のボーリング大会について

7月29日（土）郡内の医院家族従業員親睦ボーリング大会が盛岡市マッハボウルにおいて行われ、4施設より従業員18名、医師6名が参加し、有意義な一日であった。

成績その他は別掲。

### 5. 第41回岩手県医師会親睦野球大会について

詳細は別掲

### 6. 一次二次高次救急医療研修会について

8月25日（金）盛岡グランドホテルにおいて行われ、特別講演として大阪大学救急医学助教授吉岡敏治先生の「最新の熱傷治療」として講演された。

### 7. 第23回岩手県医師会親睦ゴルフ大会について

9月10日（日）気仙医師会・東磐井郡医師会の担当で石鳥谷町盛岡南ゴルフクラブにおいて143名の参加で行われた。次年度は一関市医師会、平成3年度は盛岡市医師会の担当で行われる予定である。

- 8. 盛岡療養所花巻温泉病院の統合について
- 9. 社会保険医療担当者の共同指導について  
8月29・30日県内2病院、2医院が厚生省監査をうけた。

10. 健康診断改正のあらまし

去る5月10日、中央労働基準審議会（花見忠会長）より、健康診断項目の充実等に関する「労働安全衛生規則等の改正案要綱諮問」に対する答申を受けた労働省は、6月30日、関係省令の改正及び告示を行い、10月1日から施行される運びとなった。この改正は昭和47年の労働安全衛生法制定以来、初の健康診断に関する抜本的な改正である。

一般健康診断

労働安全衛生規則

昭和63年10月に施行された改正労働安全衛生法は、労働人口の高齢化や職場環境の変化などに対応するため、従来の安全な職場づくり・疾病の早期発見から、快適な職場づくり健康の保持増進へと大きく変化している。

今回改正された法定健診項目もこれに促したのようになっており、人生80年代を見据え高齢化に伴う疾病や、技術革新に伴うストレス疾病等にも対応できる健康診断となるよう、検査項目の充実が図られている。

(雇入れ時健康診断項目)

労働安全衛生規則第43条では、労働者を雇い入れる際は、健康診断を行うことが義務づけられている。

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 既往歴及び業務歴の調査               |
| 2  | 自覚症状及び他覚症状の有無の検査          |
| 3  | 身長、体重、視力、色覚及び聴力の検査        |
| 4  | 胸部エックス線検査                 |
| 5  | 血圧の測定                     |
| 6  | 尿検査（尿中の糖及び蛋白の有無の検査）       |
| 7  | 貧血検査（血色素量、赤血球数）           |
| 8  | 肝機能検査（GOT、GPT、r-GTP）      |
| 9  | 血中脂質検査（総コレステロール、トリグリセライド） |
| 10 | 心電図検査                     |

- (注) かこみのついた検査は、今回の改正で追加またはその内容が明示されたもの。
- (注) 雇入れ時の健康診断では、健康診断項目等の省略等はない。

(定期健康診断項目)

労働安全衛生規則第44条では、1年以内ごとに1回定期的に健康診断を行うことが義務づけられている。

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 既往歴及び業務歴の調査               |
| 2  | 自覚症状及び他覚症状の有無の検査          |
| 3  | 身長、体重、視力及び聴力の検査           |
| 4  | 胸部エックス線検査及び喀痰検査           |
| 5  | 血圧の測定                     |
| 6  | 尿検査（尿中の糖及び蛋白の有無の検査）       |
| 7  | 貧血検査（血色素量、赤血球数）           |
| 8  | 肝機能検査（GOT、GPT、r-GTP）      |
| 9  | 血中脂質検査（総コレステロール、トリグリセライド） |
| 10 | 心電図検査                     |

○健康診断項目の省略

次の場合、医師が必要でないと認めるときは健康診断項目を省略することができる。

- イ、身長は25歳以上の者。
- ロ、喀痰検査は、①胸部エックス線検査によって疾病の発見されない者。②胸部エックス線検査によって結核発病のおそれがないと診断された者。
- ハ、7～10の検査については、35歳未満の者及び36歳～39歳の者。

(注) 従来医師が必要でないと認めるとき省略することができる」とされていた血圧測定・尿中の糖及び蛋白の有無は、省略できないこととなった。

○聴力検査

1,000<sup>Hz</sup>及び4,000<sup>Hz</sup>の純音を用いるオーディオメーターによる聴力検査を原則とするが35歳未満の者及び36～39歳の者については医師が適当と認める聴力検査方法によることができる。

## 11. 平成元年度の地方交付税における学校医報酬の算定について

### (1) 幼稚園

人口10万人当たり4ヵ所(前年度5ヵ所)を基準として、1ヵ所当たり2名の園医を算定し、1名当たり143,000円(前年度140,000円)を積算

### (2) 小学校

1学校(児童数750人、前年度は765人)当たり、3名の学校医を算定し、1名当たり143,000円(前年度140,000円)を積算。

### (3) 中学校

1学校(生徒数650人、前年度675人)当たり、3名の学校医を算定し、1名当たり143,000円(前年度140,000円)を積算。

### (4) 高等学校

生徒数675名につき、3名の学校医を算定し、1名当たり143,000円(前年度140,000円)を積算。

## 12. 平成元年度インフルエンザ臨時予防接種の実施について

今般、岩手県環境保健部長より、インフルエンザの流行を未然に防止するため、標記臨時予防接種を実施することとし、本会宛協力要請がありました。

当該予防接種の実施にあたっては、先に開かれた岩手県感染症対策委員会(桜井末男委員長)において「インフルエンザ予防に関する調査」の結果を踏まえ、検討の結果①毎年学校等においてインフルエンザの流行がみられ、休校・学級閉鎖が行われていること②晩秋から冬季の期間に、インフルエンザの流行が予測されること③インフルエンザの流行を未然に防止する方法として、予防接種の実施が最も効果的であること、の理由から実施されるものであります。

インフルエンザ予防接種は本年度も実施す

る。もし接種を受けることを見合わせたいという生徒がある場合は各学校でセレクションする。

## B. 協議事項

### 1. 平成元年度県民健康講座開催について

本年度は西根町での開催であり、平成2年1月24日(休)、31日(休)、2月7日(休)、14日(休)の4日間、西根町民センターを会場に予定している。本年度の共通テーマは「在宅ケア」についてであり、各町内の健康推進員を積極的に受講するよう呼びかけること。

### 2. 医療時事講演会開催について

10月14日(土)午後2時～5時まで県立中央病院会議室において、「これからの医療について」厚生省職員のお話しがある。

### 3. 社会保険医療の集団指導開催について

郡医師会主催の表記講習指導を予定している。期日は11月中旬。同日は「医療紛争の問題点について」の講演も予定している。

### 4. 医事紛争について

5. 岩手郡医師会担当の県医行事開催について  
平成3年度は野球大会の開催が予定されている。会員諸氏の御協力を御願います。

### 6. 産業廃棄物の件

### 7. 岩手郡学校保健会について

10月28日(土)予定。郡内小中学校の養教を中心に講演会予定。

### 8. 生涯教育について

ハガキの提出を忘れないで下さい。

### 9. その他今後の行事予定など

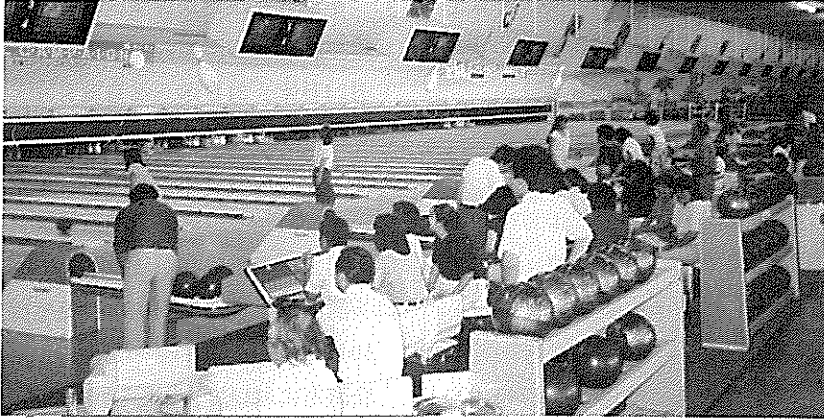
11月25日(土)郡医師会会員忘年会予定

於 松尾村八幡平温泉郷八幡平ロイヤルホテル。

## 郡医師会 家族・従業員親睦ボーリング大会

於 盛岡市マッハボウル

平成元年 7月29日(土)



当初予定していた岩手山登山が都合により出来なくなり、それにかわるものとして岩手郡医師会では、郡内の医院家族、従業員親睦のボーリング大会を、平成元年7月29日(土)午後3時より、盛岡市上堂マッハランドボーリング場において挙行了。郡内より医師6名、家族従業員18名の参加により3ゲーム戦で争われたが、中には初めてボーリングゲームをする方もおれば、様になったフォームからかなりのベテランと思われる方もあり、女性でも男子顔負けのハイスコアを出している方もあったり、またストライクが出るたびにジュースのサービスがあり、ゲームの進行と共にかなりの盛り上がりを見せていた。

最終組終了と同時に表彰式が同会場で行われ、その結果、155、111、143、計409のスコアで伊藤三栄子さん(塚谷医院)が優勝、第2位は、125、135、142計402の近藤明美さん(西島医院)、第3位は100、174、128計402の遊橋かおりさん(西島医院)となりトータルでは男子のスコアがダントツではあったが、上位入賞は女性となった。また栄えあるB、B賞は合計133の大志田里美さん(嶋医院)であった。成績は次の通り。

○医師の部		○家族従業員の部
西島康之	349	立柳美津子(嶋)265
上原充郎	357	中村ゆきえ(嶋)274

瓜田明義	366	猪川 君(嶋)203
嶋 信	416	大志田里美(嶋)133
高橋(牧)	途中キケン	民部利美子(塚)374
高橋(孝)	途中キケン	伊藤三栄子(塚)409
		立花 郁子(塚)311
		松本ミツ子(高)318
		大坪亜希子(高)309
		藤岡あや子(高)346
		斉藤 貴子(高)331
		常田 騰(西)484
(注) 家族従業員の部の所属は		村木 典夫(西)379
(嶋)…嶋医院		近藤 明美(西)402
(塚)…塚谷医院		遊橋かおり(西)402
(高)…高橋医院(滝沢)		深沢口静子(西)399
(西)…西島医院		栗畑 良子(西)400
		茶家久美子(西)276



参加者全員

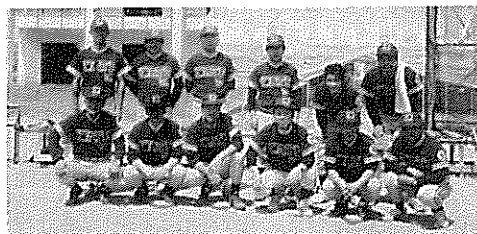


# 第41回県医師会親睦野球大会 初戦 敗退

第41回県医師会野球大会は、平成元年8月20日(日)水沢医師会の担当で、水沢市営球場他市内8会場の中学校、高校のグラウンドで県内20チームの医師会が参加して盛大に行われた。午前8時からの市営球場での開会式には、テレビの「健康で長生きするために」の司会でおなじみの畑中美耶子さんのユーモラスなチーム紹介の中、各チーム入場行進し、大会会長、実行委員長などの挨拶があったあと、永年選手表彰では当医師会より10年選手として遠藤哲夫先生、高橋克郎先生、及川忠人先生が表彰され記念メダルが手渡された。次いで次期開催地の久慈医師会会長川村弘二先生より「例年の暖かい時期(8月)に県北の地久慈に皆様をお迎えし、久慈独特の方法で試合を行ないたいと考えており、ぜひ多数の先生の参加をお待ちしています。」という力強い言葉があり、午前9時より始まった第一試合は場所を水沢高校グラウンドに移して、次期開催地で張り切っている久慈医師会チームと対戦した当医師会は、初回到り相手に相手左投手の立ち上がりコントロールに苦しむところを攻めて3点を先取したが、その裏土谷投手の好球を狙い打ちされて、外野を転々とする長打を浴び、打

※スターティングメンバー

(久慈医師会)		(岩手郡医師会)	
1 中	藤田秀人	三	高橋克郎
2 二	青木喜彦	一	遠藤哲夫
3 三	遠藤秀彦	捕	嶋 信
4 投	石切功一	投	土谷正彦
5 遊	河野貫治	遊	篠村達雅
6 右	市川 宏	中	高橋 司
7 捕	小林貞夫	二	及川忠人
8 左	織茂 平	右	佐々木久夫
9 一	伊藤達郎	左	伊藤伸郎



岩手郡チーム選手一同

者二巡(?)12点をとられ、結局4対15で大敗を喫した。続いて行なわれた敗者戦は会場を水沢高グラウンドに移動して一回戦盛岡Aチームに敗れた二戸医師会と対戦したが、前半は接戦を演じていたが5対12で敗れた。

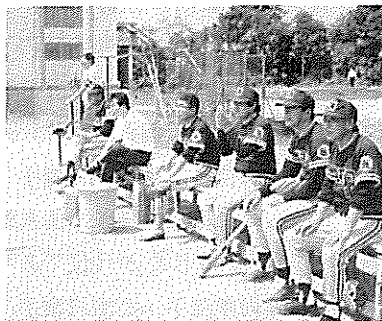
今回は練習試合も出来なかったため、今大会が年1回の野球試合となってしまい、打撃においても守備面においても未熟で、練習不足が明らかであった。例年通り練習試合をこなしての本番を迎えた方がよかったように思われた。

平成3年度の担当は当岩手郡医師会となり、それに向けての準備、その他会場の手配など諸事万端これからが大変ということになり、会員諸兄の御協力を切に御願ひする次第である。

	1	2	3	計
岩手郡医師会	3	0	1	4
久慈医師会	12	3	×	15



高橋会長も奮闘



岩手郡チームのベンチ

## 第23回岩手県医師会親睦ゴルフ大会に参加して

岩手町 坂井 博毅

例年になく日本列島には秋雨前線が長く停滞し、ぐずついた天気が続いた。大会前日の土曜日も雨が降り、大会当日の天候が大変心配されましたが、明けて9月10日(日)は雨も上り絶好のコンディションのもと、全県から143名の医師とその家族が参加して、第23回岩手県医師会親睦ゴルフ大会が開設2年目の石鳥谷町盛岡南ゴルフ倶楽部に於て盛大に挙行された。

黒松や赤松でセパレートされた雄大なコースのいたるところには池があり、その水が緑の芝に映えて大変美しく、フェアウエイコンディションも抜群であった。しかも前日までの雨でグリーンは止まりやすく最高のグリーンコンディションのもと開催され、スタート前から良いスコアーが期待された。案に違わず盛岡市医師会の山口一彦選手がアウト39、イン37グロス76のベストグロスで、また和賀医師会の松浦武彦選手がアウト、インともに39グロス78で青年の部で優勝し、共に見事第3回全日本医師ゴルフ選手権大会(於箱根カントリー倶楽部)の出場権を獲得した。

私は残念ながらクロス79で1打及ばず無念の涙を飲んだ。スクラッチによる全日本医師ゴルフ選手権予選はネーベンで、本大会の本旨はネット上位五人の合計による各郡市医師会対抗の団体戦と年代別の個人戦である。団体戦では花巻市医師会が優勝し、盛岡市医師会が準優勝であった。我が岩手郡医師会は青年の部の土谷正彦選手(個人戦39位)、壮年の部坂井博毅(個人戦6位)八角正司選手(個人戦41位)、佐藤郁郎選手(個人戦44位)、瓜田明義選手(個人戦49位)、レディースの部坂井洋子(個人戦5位)の6選手が参加し善戦したが10位であった。嶋信選手、佐藤尚孝選手、高橋司選手、塚谷

栄紀選手など有望ポイントゲッターが御仕事の関係で欠席され苦戦をしいられたのは残念であった。

個人戦成績(所属は各医師会、敬称略)

青年の部 優勝 松浦武彦(和賀)2位  
櫛引孝昌(和賀)3位 小原  
紀彰(花巻市)

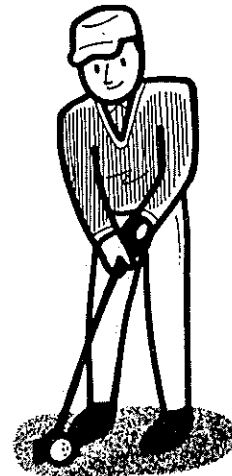
壮年の部 優勝 金沢源一(盛岡市)2  
位 高橋康文(花巻市)3位  
三善 悟(盛岡市)

シニアの部 優勝 白間 勇(久慈)2位  
豊島純三郎(宮古)3位 今  
井利倫(盛岡市)

レディース 優勝 佐藤和恵(花巻市)2  
位 植田生子(釜石)3位  
工藤 雪(釜石)

表彰式懇親会も和やかなうちに無事終了し、有意義な一日を過ごし三三五五家路についた。

誠心誠意ホスピタリティーを発揮していただき、御苦勞をおかけした担当の気仙医師会及び東磐井郡医師会の先生方と関係各位の方々に心から感謝致し報告を終わります。



## 第6回岩手県医師庭球大会に参加して

岩手町 坂井 博 毅

8月27日(日)岩手県営運動公園テニスコートに於て第6回岩手県医師庭球大会が開催された。まだ夏の盛りで暑さ厳しい季節でしたが当日は比較的穏やかな天候に恵まれ南は一閃、北は八戸のテニスを楽しむ先生方とその家族が参加して盛大に行なわれた。

軟式が5チーム10人、硬式は青年の部10組20人、女子及び壮年の部8組16人、総勢46人が参加して熱戦が展開され、成功裡のうちに終了した。これも佐藤麟太郎会長先生をはじめ役員の方、特に室月先生と岩動先生の御努力の賜物である。

本大会は同好会形式のため会の運営の全てが会員によって取り仕切られるため盛岡在住の役員の方の御苦勞は大変なものであった。反

面形式ばらないため、岩手県医師会会員以外に旧南部藩の八戸や佐竹藩の秋田の先生方も参加するといった極めて特異的で和やかな親睦を旨とした個人戦の大会である。

当岩手郡医師会からは高橋司先生の奥様と私、それに私の家内の3人が参加した。

私ども夫婦は惨敗したが女子及び壮年の部で高橋司先生の奥様が盛岡の川端先生令夫人と組まれ堂々3位に入賞された。大会終了後ホテル東日本で反省会がもようされたが、遠くから車で来られた先生方が多く、反省会への参加者は8人と少なく淋しかった。それでも今迄存じ上げなかった先生方と親しく懇談出来楽しい夏の夕べでした。

### 成績

#### 〔軟式の部〕

- 優勝 藤田秀人—藤田秋子(久慈)組
- 2位 佐藤麟太郎(水沢)—室月 隼(盛岡)組
- 3位 鈴木典郎—千葉政男(水沢)組

#### 〔硬式の部〕

##### 成年

- 優勝 前多治雄—佐藤尚介(岩手医大病院)組
- 2位 田沢義人—馬場裕康(県立釜石病院)組
- 3位 沼里 進(日赤盛岡病院)—岸原 隆(八戸)組

##### 女子及び壮年

- 優勝 伏谷 靖—種市 譲(八戸)組
- 2位 岩動 孝(盛岡)—小穴勝麿(日赤八戸病院)組
- 3位 川端れい子(盛岡)—高橋純子(岩手)組



## 特別講演会

日時：平成元年11月11日(土) 午後3時

場所：岩手県医師会館 3階視聴覚室

演題及び講師：

## 1. 医事紛争の実態について

岩手県医師会医事紛争対策

委員長 石川 育成先生

## 2. 保険診療集団指導

岩手県生活福祉部指導医療官

白倉 義則先生

## 学術講演会と忘年会

日時：平成元年11月25日(土)午後3時

場所：松尾村寄木第1地割(八幡平温泉郷)

八幡平ロイヤルホテル

TEL0195(78)3311

演題及び講師：

「これからの老年医学」

岩手医科大学教授

東儀 英夫先生

## 新入会員

○田中 佳博 ヨシヒロ S23年1月20日生

内科

岩手町 工藤医院勤務

紫波郡川久保病院より

## 退会

○佐々木亮孝 9月30日 八角病院より

○福田 春彦 6月30日 八角病院より

## 編集後記

○通常総会における報告事項は、前号に一部掲載していますので参考にさせていただきたい。

○郡医師会としては現会長のもと初めて家族従業員とのボーリング大会が行われたが、今回の参加は比較的予想より少なかったが、まだまだ潜在的に経験者もたくさんいると思われますし、これから冬のシーズン室内競技としてのボーリングも盛んになってきており、大いに腕をみがいて次に備えぜひ多数の参加を期待したいものと思います。今回は特に連絡の期間も短く、PR不足もあると思いますので……

高橋会長、副会長とも1ゲームでリタイアしてしまい、特に高橋副会長は急激な運動による足の肉離れを起してしまったとのこと。

それにしても参加者にはストライクを出す毎に

飲み物のサービスがあったり楽しいひとときを過ごすことができました。御協力いただいた榎小田島の皆様にはどうもありがとうございました。

○県医師会関係の行事が8月～9月にかけて行なわれ、参加された先生方の御活躍みごとなものと思われます。どうも御疲れ様でした。

野球大会では今年は1回戦突破ならず、庭球大会においては坂井先生御夫妻の奮戦及び高橋司先生の令夫人の上位入賞本当におめでとうございます。坂井先生御夫妻はテニス大会が終って間もなく、ラケットをゴルフクラブに持ちかえてゴルフ大会でも大活躍されました。本当に御苦労様でした。また次回での活躍に期待します。